



2017年 5月 10日

JACET-Chubu Newsletter

一般社団法人 大学英語教育学会中部支部 No. 38

新支部長挨拶

支部長 村田 泰美
(名城大学)

平成 29 年度の新学年が始まり、JACET 中部支部会員の皆様におかれましては、教育に研究にお忙しくお過ごしのことと存じます。私こと次の 2 年間の中部支部長役を拝命いたすこととなり、紙面を借りましてご挨拶を申し上げます。

まずは旧年度の役員の皆さまの JACET 中部の活動へのご尽力に対し厚くお礼を申し上げます。特に支部長として 2 年の任期を無事務められました大森裕實先生、支部長と一体となり中部支部の盛隆を支えられました副支部長の鈴木達也先生、煩雑な事務業務をこなされた佐藤雄大先生、そして支部の健全な財務管理を担当された会計の

今井隆夫先生の執行部の皆様には頭の下がる思いです。6 月からは佐藤雄大先生と今井隆夫先生がそれぞれ副支部長、会計として執行部にとどまってくださり、事務局幹事としては新たに藤原康弘先生が加わり新執行部体制がスタートいたします。馬齢を重ねただけの者としては、優秀な執行部の皆さまの支えを得ることができ、大変心強く思っております。

JACET の歴史を振り返れば、1962 年に大学英語教育協議会にて学会創立が決議され、翌 1963 年に発足、その後 1972 年の関西支部創設を始めとして、各支部が次々に創設されて、JACET は全国に支部を持つ日本で最大規模の「大学英語教育」に関わる学会となってきました。ちなみに JACET 中部の設立は 1983 年 6 月ですから今年で 34 年目を迎えることとなります。

さて、皆様が最初に JACET に入会された理由は何だったのでしょうか。一般的に研究職や大学の教員職にある人が自らの専門の学会に入る時、必ず二つの大きな共通する目的を持っていると思われまます。言うまでもなく、まずは研究です。自分の研究を同じ専門の人に聞いてもらい、その質を高めていくこと、そして現在どんな研究が進んでいるのかという研究のカッティング・エッジを把握できる場が学会です。また狭い専門だけでなく、分野全体の研究動向が見えるのも学会でありましょう。

研究以外の目的で学会に入るもう一つの共通の目的は、人とのつながりを作ることではないでしょうか。わたくし自身、JACET

目次

新支部長挨拶	村田泰美	1 頁
第 33 回 (2017 年度) JACET 中部支部大会の開催	村田泰美	2 頁
<u>講演会報告</u>		
江利川春雄 氏「英語教育史から学ぶ一文法訳読方式からアクティブ・ラーニングまで一」	吉川 寛	3 頁
<u>研究会報告</u>		
中部 ESP 研究会	馬場景子	4 頁
事務局より		7 頁

を通し、同じ研究テーマに興味を持つ研究者に出会いました。JACET がなければ出会えなかった仲間、JACET がなければ遂行できなかったであろう研究を思うとき、多くの会員の皆様にも同じように JACET から多くを得て頂きたいという思いを強く致します。そのためには支部大会や国際大会では魅力ある中身を提供していき、より多くの会員の皆様に「参加したい」、「参加してよかった」と思ってもらわなくてはなりません。

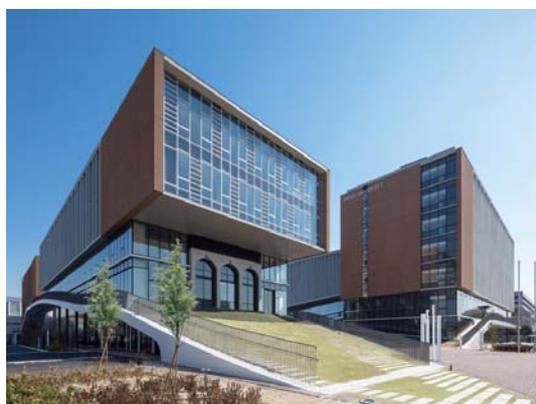
現在日本の英語教育は行政主導で、有無を言わせぬ変革が起きています。小学校での英語の教科化、中学、高校での英語で教える英語の授業、高大接続、大学入試の外部試験導入、英語科教職課程のコア・カリキュラムなど、大学英語教育にも大きな影響を与える変化が押し寄せています。変化に対応するために、また対応しないという選択をするための情報を支部として提供できたらと考えております。今後2年間、役員の皆様、また会員の皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

**第33回(2017年度)
JACET 中部支部大会の開催
村田 泰美
(中部支部長・理事)**

本年度開催されます JACET 中部支部大会のお誘いを申し上げます。第33回 JACET 支部大会は4月より、外国語学部、都市情報学部、人間学部の3学部体制となった名城大学ナゴヤドーム前キャンパスにて、愛知教育委員会及び名古屋市教育委員会の後援を得て、6月3日(土)に開催致します。今回のテーマは「大学教育の新局面—CLIL

とアクティブラーニングの視点から—」です。特別講演は CLIL 研究及び実践の第一人者でいらっしゃる上智大学の池田真先生にお願い致しました。また、大会テーマに即したシンポジウムでは、森朋子関西大学教授、石川慎一郎神戸大学教授をお迎えし、村田も名城大学での取り組みを紹介しながら、アクティブラーニングや CLIL についての報告や討論を通して参加者の皆様と一緒に理解を深めて行きたいと存じます。

もちろん例年通り、会員の皆様による研究発表やテキスト出版社による展示もあります。また、当日は名城大学が神田外語大学と提携をして設置しましたグローバルラザ(英語自律的学習室)の見学もできるように企画中です。新執行部および新役員で企画・準備致しました第33回支部大会にどうぞ奮ってご参加ください。



講演会報告

2016年度 春季定例研究会

「英語教育史から学ぶ一文法訳読方式からアクティブ・ラーニングまで」

江利川 春雄 氏

(和歌山大学教授)

2017年3月4日

(於: 名城大学)

2017年3月4日(土)名城大学ナゴヤドーム前キャンパスにて開催された2016年度JACET中部支部春季定例研究会で、和歌山大学の江利川春雄氏を講師としてお招きし、標記演題の講演が行われた。

氏は、英語教育において、過去の教訓から学び未来を模索するためには英語教育史を学ぶ必要があると力説する。そのような視点から、①文法訳読方式、②小学校英語教育、③「英語で授業」と少人数教育、④アクティブ・ラーニングの4項目について分析と検証を行なった。

①では、斎藤秀三郎や山崎貞らによって日本人に適した学習英文法が考案され普及した。その文法を活用して英文解釈を行う学習法が定着した。氏はこのような英文解釈法はEFL環境の日本にふさわしい学修であり再評価すべきであると主張する。

近年の「コミュニケーション重視」(臨教審答申1986)や「会話の重視」(経団連2000)「文法指導の削除」(中学校学習指導要領)などの結果、著しい「英語力の低下」と「英語嫌いの増加」を招いてしまったと氏は主張する。

②では、明治以来小学校英語教育をめぐって賛否両論が激しくなされてきたが、明治期に指摘された様々な問題が解決されないままであると氏は考えている。小学校英語教員養成、小学校英語教材、英語教授法、学習開始時期のどれ一つをとっても未解決であると氏は説く。岡倉由三郎の「国語教育が先決」(1911)の問題提起も放置されたままである。近年推し進められている小学校英語教育に対して過去の議論と実施結果を精査すべきと氏は主張する。

③では、パーマーがオーラル・メソッドを提唱し、その普及活動を行ったが、5年後は和訳や日本語使用を容認し自説を修正した事例が紹介された。現在の学習指導要領で「授業は英語で行うことを基本とする。」と謳われているが、氏はその実現性に危惧を抱いている。少人数教育の有効性は、旧来から認められて来ていて、旧湘南中学校の成功例(1939)もある。しかし、日本は、世界的にみても極めて低い教育予算と

	<p>ひつじ英語教育ブックレット 4</p> <h3>英語だけの外国語教育は失敗する</h3> <p>複言語主義のすすめ</p> <p>定価 1,200円+税</p> <p>鳥飼玖美子・大津由紀雄・江利川春雄・齋藤兆史著 座談会 林徹×鳥飼玖美子×大津由紀雄×齋藤兆史</p> <p>「複言語・複文化主義から英語教育の在り方を再考する」と題して2016年10月に開催されたシンポジウムの誌上再録を基に、新学習指導要領を論じ、これからの英語教育が進むべき道を探求する。英語教育改革の嵐の中で、何が教育として大切かを考える。</p>	<p>2017年夏刊行予定</p> <h3>これからの英語教育の話</h3> <p>をしよう</p> <p>藤原康弘・仲潔・寺沢拓敬著</p> <p>英語教育の「抜本的改革」は成功するのか? 次期学習指導要領と英語教員養成・研修のコア・カリキュラム「改革案」を、異なるバックグラウンドを持った3人の新進気鋭の研究者が斬る。社会学・国際英語論・批判的応用言語学の観点から、改革案の問題点を論じ、対案を示した。</p>
<p>■ひつじ書房の刊行案内や特別セールなどのお知らせは「ひつじメール通信」から配信いたしております。 ご希望の方はtoiawase@hituzi.co.jpまでメールでご連絡ください。 〒112-0011 東京都文京区千石2-1-2大和ビル2F ひつじ書房 TEL 03-5319-4916 FAX 03-5319-4917 toiawase@hituzi.co.jp http://www.hituzi.co.jp</p>		



ひつじ書房

英語教員の疲弊で昔も今も実現の可能性は低いと氏は指摘する。

④では、既に江戸時代に学塾や藩校で「会読」と呼ばれる一種のアクティブ・ラーニングが行われていた事例や岡倉由三郎(1911)のアクティブ・ラーニングの奨励の意見などを紹介してアクティブ・ラーニングの有効性を氏は主張する。しかし、良好な人間関係の構築、学力の向上、教師のストレスの減少などアクティブ・ラーニングのメリットを指摘する一方、授業スタイルの切り替えと習熟にはかなりの時間と労力が必要であるとの指摘もなされた。

氏の日本の英語教育への批判と提言は、過去の実例を根拠にしているので大変説得力に富むものである。英語教育の変革が強く求められている現在、大変興味深く有意義な講演であった。

吉川 寛 (中京大学)

研究会報告

中部 ESP 研究会

ESP Study Chubu Chapter

中部 ESP 研究会は、発足当初、工業英語を中心とした研究調査を行ってきた。工業英語の重要性は、現在も過去も変わらないが、会発足当時は「なぜ英語の教員が工業英語を指導しなければいけないのか」という素朴な疑問を英語教員が呈するケースが多くみられた。また、単に専門用語を指導するだけでいいのではという、これまた素朴な意見が多くあったことを思い出しながらこの文章を書いている。おそらく、この素朴な疑問・意見を覆したのは、講談社ブルーバックス、斉藤恭一著『理系のためのサバイバル英語入門』(1996)であったのではと思う。昨年、斉藤先生とお話する機会があり、この著書の舞台となった東京大学工学部での工業英語講座の経緯を伺った。意外なほど受講を希望する学生が多かったという内容は、同じ時期に偶然、筆者も工業英語の講義を受け持ち斉藤先生と同じである。1990年代は、どうも ESP の萌芽的な時期であったと考えている。ESP は、従来の英語教育に鬱々していたユーザーが必要

 成美堂 2017年 新刊のご案内		〒101-0052 東京都千代田区神田小川 3-22 TEL 03-3291-2261 / FAX 03-3293-5490
<p>Break Away 1-----1,900 円(税別)</p> <p>Reading Success 2 -----2,000 円(税別)</p> <p>Read, Read, Read-----2,300 円(税別) -Enhance Your WPM & Comprehension-</p> <p>Learn English with TITANIC -----2,300 円(税別)</p> <p>Science Finder-----1,900 円(税別)</p> <p>It's a Wired World -----1,900 円(税別)</p> <p>What's Going On in the World?-----1,900 円(税別)</p> <p>Which side are you on? -----2,100 円(税別) Forming views and opinions -New Edition-</p> <p>ALL-POWERFUL STEPS FOR THE TOEIC® LISTENING AND READING TEST-----2,200 円(税別)</p>	<p>BEST PRACTICE FOR THE TOEIC® LISTENING AND READING TEST -Revised Edition- -----2,200 円(税別)</p> <p>GET READY FOR THE TOEFL® TEST -----2,300 円(税別)</p> <p>Smart Writing -Active Approach to Paragraph Writing-----2,000 円(税別)</p> <p>CBS NewsBreak 3 -----2,400 円(税別)</p> <p>AFP World Focus -Environment, Health, and Technology- --2,500 円(税別)</p> <p>Meet the World 2017 -English through Newspapers- --2,000 円(税別)</p> <p>Thinking About Our Place in the World-----1,900 円(税別) -New Questions, New Answers-</p> <p>Fundamental Science in English I -----2,000 円(税別)</p>	
株式会社 成美堂  SEIBIDO ●書籍の情報はホームページでもご覧になれます。 URL: http://www.seibido.co.jp e-mail: seibido@seibido.co.jp		

としていた英語教育であったらしい。最近
は工業英語教育が正式な講義内容となり、
学生のパトスが少々失われてきたとはいえ、
理工系学生への工業英語教育は不可欠であ
ることは言うまでもない。2016年度のESP
研究会（中部）は、公益社団法人工業英語
協会とのコラボレーション研究を行った。
この研究調査は今年度も継続する。以下に
示す文章は、JACET事務局に提出した2016
年度の報告である。2017年度（今年度）、
青山学院大学で開催される国際大会で、工
業英語協会の関係者とのコラボレーション
ポスター発表を行うことにしている。興味
を持たれた読者は、青山学院でお会いしま
しょう。

「ESP研究会（中部）」は、設立当初から
工業英語研究を主幹として研究調査を行っ
てきました。時代の変遷と共に、ESP研究
の幅が広がってきました。当研究会では、
その都度の要求に先立った調査・研究を行
ってきました。現在、ESP研究会（中部）
のもう一つの主幹となっている医療系英語
はその冠たるものです。さらに、観光英語
に関しては公的機関の会議に出席した際の
提案が上位提案となりました。また、高等
教育機関における障害学生への対応に関し
ては、早期に教育の平等を提唱してきまし

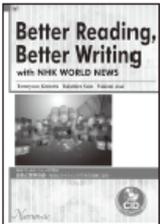
た。このような成果は、当研究会に参加し
ている各分野の専門家による多様な意見の
反映の結果であると言えます。

2016年度は、再度、工業英語に焦点を当
てた活動を行っています。2016年度の中
間発表として、2016年JACET第55回国際大
会（於：北星学園大学）でポスター発表を
行いました。この発表は、公益社団法人日
本工業英語協会とのコラボレーションを踏
まえたプレ発表です。発表は、「工業英語と
は何か」を問い直す以下の内容となりました。

- ・工業英語の基本概念
- ・3C（Correct・Clear・Concise）
- ・「工業英語ジャーナル」
- ・理工系のための「グローバル英語プロ
グラム」

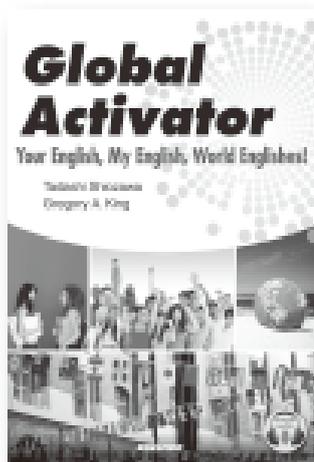
現在、ESP研究は過渡期に在ります。換
言すると再萌芽期であると言えます。前段
階の研究成果を踏まえた螺旋的な発展のた
めの時期でもあるわけです。当研究会では、
2017年以降、学習者の理解を明確にするた
め工業英語での「CAN-DOリスト」作成を
念頭に工業英語協会との協力を得て調査・
研究を継続していきます。」

馬場 景子（中部大学 [非]）

<p>● NHK World News で日本の過去・現在・未来を考える総合時事英語</p> <p>Better Reading, Better Writing with NHK WORLD NEWS</p> <p>NHK ワールド・ニュースで学ぶ日本と世界の姿 —多読とライティングでその深層に迫る— 木村 友保/佐藤 雄大/浅井 恭子 著 B5判 120ページ 定価(本体 2,000円+税)</p> <hr/> <p>ビジネス・キャッツ —プロジェクトで学ぶ実践ビジネス英語— 寺内はじめ 編著 A5判 208ページ 定価(本体 1,800円+税)</p> <p>● プロジェクトの企画、立案、プレゼンテーションからクレーム対応までのあらゆるシーンを網羅。 シミュレーションしながら鍛える実践型ビジネス英語の決定版。</p>		
	<p>南雲堂 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 361 TEL : 03-3268-2311 E-mail: nanundo@post.email.ne.jp URL: http://www.nanun-do.co.jp/</p>	

好評テキストのご案内

「世界の英語」で体感する、
グローバル時代のリアルな英会話



Global Activator

Your English, My English, World Englishes!

大学生のためのグローバル時代の英会話

塩澤 正 / Gregory A. King 著

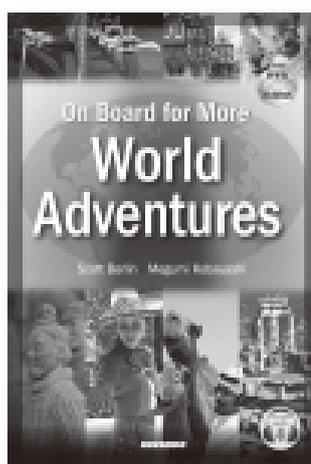
¥2,000(税別)

B5判、104pp.、全15章

教授用資料、スクリプト、試訳、CDあり

ISBN978-4-7647-4003-7

美しい映像とともに英語を学ぶ人気教材
新たな訪問地へ、いま出発！



On Board for More World Adventures

続・DVDで学ぶ世界の文化と英語

Scott Berlin / 小林めぐみ 著

¥2,300(税別)

B5判、104pp.、全15章

教授用資料、スクリプト、試訳、CDあり

ISBN978-4-7647-3991-1



金星堂

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-21

電話 03-3263-3828 FAX 03-3263-0716

text@kinsei-do.co.jp <http://www.kinsei-do.co.jp>

掲示板

『JACET 中部支部紀要』第 15 号に掲載用の原稿（学術論文、研究ノート、実践報告、書評）を募集します。ぜひ奮ってご応募ください。

締切： 2017 年 9 月 10 日

刊行予定： 2017 年 12 月

掲載料：刷り上がり 1 ページにつき、
1,000 円の負担

長さ：研究論文 23 ページ以内、実践
報告・研究ノート 15 ページ以
内、書評 5 ページ以内

問合せ：JACET 中部支部事務局

投稿規程など詳細は、ホームページや
紀要最終ページでご確認ください。

中部支部紀要編集委員会

研究企画委員（19名）

石川有香（名古屋工業大学）、伊東田恵（豊田工業大学）、今井隆夫、榎木藺鉄也（中京大学）、大石晴美（岐阜聖徳大学）、大森裕實（愛知県立大学）、岡戸浩子（名城大学）、北尾泰幸（愛知大学）、木村友保（名古屋外国語大学）、リア・ギルナー（文京学院大学）、倉橋洋子（東海学園大学）、小宮富子（岡崎女子大学）、佐藤雄大、塩澤 正（中部大学）、鈴木達也（南山大学）、馬場景子（中部大学[非]）、藤原康弘、村田泰美、吉川 寛

任期は 2 年となります。どうぞよろしくお願いたします。なお、そのほかの本部役員につきましては、JACET 中部ホームページをご覧ください。

事務局より

◆ 2017 年度中部支部役員のご紹介
顧問 田中春美（南山大学名誉教授）
吉川 寛（中京大学）

理事 村田泰美（名城大学）
佐藤雄大（名古屋外国語大学）

支部長 村田泰美
副支部長 佐藤雄大
事務局幹事 藤原康弘（名城大学）
幹事（支部会計担当）
今井隆夫（愛知教育大学[非]）

社員

大石晴美、大森裕實、北尾泰幸、倉橋洋子、小宮富子、佐藤雄大、塩澤正、鈴木達也、吉川 寛

◆事務局変更のお知らせ

2017 年 4 月 1 日より支部事務局が名城大学藤原康弘研究室に移動しました。支部運営についてのご意見ご要望などございましたらお気軽にお寄せ下さいませ。なお、JACET 関係のご連絡につきましては、メール表題に【JACET 中部】とお書き添えください。

◆新入会員のご紹介

2016 年 12 月から 2017 年 5 月までの中部支部所属新入会員は以下の方々です。（敬称略、入会順、再入会のものも含む）

杉山優太（ECC 外語学院 [非]）、奉 鉉京（信州大学）、Doiron, Heather（南山大学）、Becce, Nicolangelo（福井大学）、Dykes, Robert（福井大学）、植山剛行（横浜国立大学 [非]）、クサカ ローラ（愛知大学）、松野澄江（愛知産業大学短期大学）、テイラー

ジェイミー（中部大学）、林 聖太（金沢工業大学基礎英語教育センター）、山崎亜矢（金沢工業大学基礎英語教育センター）、川口勇作（愛知学院大学）、ヒラタ エリック（名古屋外国語大学）、ライアン アンソニー（愛知教育大学）、坂本 ファーン（南山大学）、西村嘉人（名古屋大学大学院 [院生]）、児玉恵太（名城大学 [非]）、阿部大輔（名古屋大学大学院 [院生]）

◆ 2017 年度第 1 回支部総会と支部大会開催のご案内

中部支部第 1 回支部総会と支部大会を 6 月 3 日（土）に名城大学ナゴヤドーム前キャンパスにて開催します。支部総会では、2016 年度の事業・会計収支と 2017 年度の事業計画・予算・人事について報告を行います。支部大会では、特別講演やシンポジウム、研究発表が行われます。詳細は、同封の別紙プログラムをご覧ください。

◆ 2017 年度 JACET 国際大会ご案内
第 56 回（2017 年度）国際大会は 2017 年 8 月 29 日（火）～ 31 日（木）に青山学院大学青山キャンパスにて開催されます。大会テーマは以下の通りです。

English in a Globalized World: Exploring
Lingua Franca Research and Pedagogy

「グローバル化が進む世界における英語－世界共通語の教育と研究における現状と課題を探る－」

詳細は JACET 大会ホームページをご覧ください。

◆住所変更届提出のお願い

支部会員みなさまに、紀要やニューズレターなどの郵便物をお届けできない事例が増えています。

お手数ですが、転居の際には、JACET 本部事務局と中部支部事務局の両方に、住所変更届をご提出ください。

詳細は、以下のサイトをご覧ください。

JACET 中部支部ホームページ

<http://www.jacet-chubu.org/>

◆ニューズレターは会員の皆様のフォーラムです。ご意見、ご要望等は事務局までメールでお送りください。投稿も歓迎いたします。

JACET 中部支部事務局

〒461-8534 名古屋市東区矢田南 4-102-9

名城大学外国語学部 藤原康弘研究室内

E-mail: fujiwara@meijo-u.ac.jp



JACET-Chubu Newsletter No. 38

2017 年 5 月 10 日発行

発行者：一般社団法人 大学英語教育学会

中部支部（代表）村田泰美

編集者：藤原康弘 佐藤雄大 北尾泰幸